

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームベにばら ユニット2	評価実施年月日	平成21年1月4日
評価実施構成員氏名	堂前智史、工藤美和、大和厚子、河合恵子、佐藤広美、矢野裕幸、藤枝和子、安居博恵		
記録者氏名	工藤 美和	記録年月日	平成21年1月9日

北 海 道

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念、ケア理念にある尊厳、家庭的な環境、その人らしさを掲げ、事業者独自の理念をつくりあげている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	共通の理念に向けて実践を行える様に勉強会、日々のスタッフ会議など取り組みを行って、スタッフ一人ひとりが同じ方向に向かってケア出来るよう取り組んでいる。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域の人々にも協力を頂き、ご家族の方にもお話をするなど理解して頂けるような理念掲げケアを行っている。	
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方が、花、野菜をくださったりとして頂き、外気浴をしていると気軽に声をかけてくださり、暮らしの日常的な出来事が見られ、これからも行っていけるよう努めている	○ 気軽に声をかけて頂けたり、来訪していただくにはどうしたらよいかスタッフと話し合っていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町で行われる行事には参加できる時は、できるだけ参加して、地域の人々と交流することで、事業所への理解を深めている。	○ 町で行われる行事のなかに、利用者さんと地域の人々をつなぐ行事ができないか？又はできるものはないか？考えていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>これからは、地域の人にも理解、関心をもって頂けるようにするにはどうすればよいかスタッフで考えていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、利用者、家族が不安にならないように事前の説明、話し合いを重ね、理解して納得していただけるように努めている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	気軽に管理者やスタッフが意見や不安、不満を聞く事ができるように、利用者さんの話しやすい環境を整えさりげなく聞き、運営に反映出来るように努めている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ニュースレターやお便り医療面、生活面の報告をしている。ホームのニュースレターでは、行事や人事異動についてもご家族の方に知らせている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が来訪された際には、意見等ないか表せる機会をつくり気軽に話していただける様に声を掛けさせていただいている。	○ 第三者の苦情処理担当者の利用を気軽に活用していただけるようにしていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送り時や、勉強会などでスタッフの意見を聞き、話し合いを行っている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者さん状況の変化が起こった時の要望に柔軟に対応出来るような勤務の調整を行えるように話し合い勤務表を作成し調整に努めている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	異動時は、新しく入るスタッフと馴染みのスタッフと研修を行い、利用者さんに不安にならないよう配慮し、ダメージを最小に抑えるため馴染みの関係に近づいていけるように配慮している。	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員一人ひとりの段階に応じて研修を受けていただき、モチベーションの向上やトレーニングを行っている。	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	研修や地域交流の中で、他施設の方との自施設の見学や、実習の交流を持ち、お互いのサービスの質の向上の取り組み、連携を図っている。	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	スタッフがひとりで、悩みすぎたり考えすぎないように話をしてもらい機会をつくり、ストレスの軽減になるように取り組んでいる。	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	スタッフ個々の実践している状況を見極めてアドバイスをするなど向上心をもち働ける様に配慮している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談の際には、本人の思いを受け止め、困っていること、不安に思うこと、望んでいることなど本人の思いを受け止め、安心した気持ちになれるようによく話し合っている。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の思いを受け止め、よく傾聴し、受け止めていけるようにしっかりと話し合いを行っている。		
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の時には、その時に必要だと思われる支援の内容をご本人、ご家族ともによく話し合い、他のサービスの利用も含め、話し合いを行い対応している。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	よく話し合った中で、スタッフが面談に行き、安心できる関係を築ける様配慮し、状況をみてご本人への見学のお誘いし、徐々に施設の雰囲気馴染める様に配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人が得意なこと、好きなことの趣味や特技を見つけ、一緒に支え合っていけるような関係を築いていけるように日々ケアを行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	お誕生会や行事なども、ご家族に協力いただいて一丸となり、ご本人を支えている。	
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	家族関係がどのようなご家族なのか理解し、その方その方の状態により、よりよく関係が築いていけるかそのつど考え支援している。	
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	馴染みの方や知人の方に自由に行き来して頂き、利用者さん個々の馴染みの場所を選んで過ごしてもらえるよう工夫している。	
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	利用者さん同士の関係をスタッフが理解し、孤立のないようにレクや体操などのなかで支え合い、協力できるような配慮をしている。	
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	退居後もご家族や利用者さんの状態により、定期的な連絡をさせていただいている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	どんな事を思いどんな事をして生活をしていきたいかなどを日常の会話や、行動の中で把握に努め、希望にむけてどうすればよいか話し合いを行っている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の面談の中で、これまでのサービス利用の経過や馴染みの生活歴について、詳しく把握をする事を努めている	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日にどのように暮らしていき今の現状がどのような状態にあるかスタッフ間で、申し送りの時などに話し合い、情報収集し交換しながら把握に努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	個別の利用者の情報交換をスタッフ間に行い、ご本人、ご家族の意見を反映し、より本人らしくなっていけるような介護計画になっている様に工夫している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じ、定期的にカンファレンスを行い、本人、ご家族の意見に応じ、状態の急変時に現状に即した新たな計画の作成に努めている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、ケア内容、バイタルサイン、食事量などを個別に記録を取り、情報の中で、介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	要望に応じて入居者さんのご家族との食事、宿泊等にも対応を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	教育機関などの協力をを行い、必要性に応じて協力いただいている。運営推進会議のなかで民生委員の方に定期的に相談も行っている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のケアマネジャーやサービス事業者の方と相談し、他のサービスの利用や支援のあり方を考えていけるよう支援をしている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要性があれば、連携をとりケアマネジメントなどについて協働しているが、権利擁護等についての実質的な相談事例がなく、常に対応できるよう地域包括センターと連携を		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望のあるかかりつけ医があれば、関係が築いていけるよう主治医に相談し、続けて医療を受けて頂けるようにしえんしている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい理解ある医師との関係を築き連携を図りながら治療、診断を受けられるよう支援している。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	定期的に医療連携をしている看護師さんや、当事業所の看護師との情報の交換にて、指示、アドバイスをいただき、健康管理を行っている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した際は、ご家族と連携をとりながら、病院にお見舞いや、洗濯物を取りに行く機会の際に、医師や看護師に情報交換を行い、早期退院できるよう努め、退院後も早期回復出来るように連携を図っている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応について、入居時に書面にて同意を頂き、重度化の状態になる前に、本人の意向、ご家族の意向を考え対応している。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所の現状を見極め、医療機関との連携を図りながら、支援についてスタッフ間で相談し見極めをし、終末期に備えた準備の必要な事を検討している。	○	これからも、ご本人、ご家族の考えを十分に聞き迅速かつ的確な対応に努めたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	別の環境の居所に移られる際は、ケア関係者との十分な話し合いを事前に行い、十分な情報を交換し合い、住み替えによるダメージを軽減するにはどういった対応をすればよいか話し合いを行い対応している。	
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	入居者さん個々の尊厳を守り、尊重し声かけ等の対応が間違っていないか、どのようにすればよいか申し送り時、カンファレンスなど話し合いを行い、記録などの一般流出しないよう配慮している	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	日常の生活において個人が自己決定できるように日々の洋服選びや、水分時の自己決定など要所要所において配慮を心掛けている。	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者さん個々の馴染みの生活を考え、そのひとに合ったペースの中で一日をその人らしく過ごして頂けるにはどうすればよいか話し合い、希望に添えるよう配慮している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	個人の行きつけの美容院がある場合は変わらずその馴染みの美容院にいけるような対応をしている。本人の希望により、施設に訪問する理容院も利用されている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の下準備を無理やりではなく、さりげなく本人本位よりスタッフと一緒に作り行える状況を作るよう配慮し、無理のないよう片付けの手伝いも手伝って頂いている。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ時や、水分時など本人の好みに沿って提供できるように好みの把握や、いろいろな種類の飲み物を提供し自己決定して頂いている。おやつ作りを楽しめる工夫をしている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者さん個々の排泄パターンを記録に記入することでスタッフ間で排泄パターンや失敗時の行動や言動を把握し気持ちよく排泄をして頂けるにはどうすればよいか考えている。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるよう支援している	入浴の希望があれば午前、午後問わず対応できる環境を作り、個々の入浴のペースに合わせて、時間を忘れて入浴に楽しんで頂けるよう支援している。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者さん個々の生活の状態を把握し、眠れないときにホットミルクを飲んでいただいたり、お話を傾聴させて頂くなど、その都度、安心して眠れるような支援を心がけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	昔に好んで行っていた趣味や、家事、運動を入居者さん一人ひとりの力に応じて行って頂けるような機会をつくり、または皆さんで楽しめるレクリエーションを行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望に対し金額のお金の所持をご家族と相談し、ご本人、ご家族の方ともに了解した額の金額を所持され、好きな物を買いたい時などの機会を作り対応している。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一日の中で、希望のある時や、天気の良い日などは近所まで散歩や日光浴されています。季節の風景を感じられるドライブを定期的に行い戸外に出かける支援を行っている。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者さんの個々の希望があれば、行きたい場所や馴染みの場所、お家など出かけている。ご家族との外出もされている。	○	温泉が近いので、定期的な温泉入浴も考えていきたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者さんが電話をしたいと話されたときはそのつどご家族や大切な人とお話しできるように電話をかけ対応している。手紙もその都度一緒に考え、返信している。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問された馴染みの方が来られた時は飲み物をイスの提供をして居心地良く過ごして頂けるよう工夫している。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の入居者さんへの対応についての研修に参加し勉強したり、日々のスタッフ会議、申し送りなどでも取り上げ学習している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間の防犯による施錠や本人の自己決定の居室の施錠以外に鍵をかける対応は行っていない。		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室で休まれている入居者さんに対してプライバシーに配慮しながら、日中、夜間ともに定期的に居室に訪問させて頂き安全に配慮している。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要性があるもので、ご本人の馴染みの物や必要なものに対して、スタッフ間で話し合いどのような対応がご本人にとって一番に良い対応かよく話し合い危険を回避していく取り組みを行っている		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時に対する取り組み、対応についてを日々の申し送り時、スタッフ会議でも取り上げ、入居者さんひとりひとりの事故防止の取り組みを行っている。	○	どういう状況でどういった対応をすればよいか具体的な行動をこれからも安全かつ迅速に対応出来るよう考えて行きたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	申し送り時やスタッフ会議などで急変や事故に対する対応を話し合いそのように対応すればよいかの訓練を行い取り組みを行っている。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害や起きた場合を想定した避難訓練を定期的に行い地域の消防の方々にも協力して頂いている。	○	地域の住民の方の理解、協力に力を入れていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザの予防接種を家族了解のもと接種されてます。保健所より感染症の指導や注意などがあつた場合スタッフ全員その防止対策マニュアルを周知している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生チェック表をつけて、一日の台所、台所用具の消毒、手拭きの交換を取り決め安全に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	夏場は玄関スロープにプランターに花を飾り、冬場はイルミネーションで楽しんで頂けるようにしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、不快な光や、音がないようにカーテンや電気、家庭的ではない音が出ない配慮、季節感のせる物、花、観葉植物、水槽など取り入れ、居心地良く過ごして頂けるように工夫に努めている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールには、ソファや椅子を置き入居者さんの皆さんが談笑できる場や、離れた所にもソファを設置し、一人で落ち着ける空間もつくり環境作りの工夫を行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 <input type="checkbox"/> 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族やご本人に馴染みの物、好みの物があればお持ちいただいています。		
84 <input type="checkbox"/> 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	夏場の温度の高い季節の時は窓を開け換気や温度調節をマメに行い、冬の乾燥時期は居室に濡れたタオルや加湿器により調節をしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 <input type="checkbox"/> 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	様々な生活環境の要所に手すりを設置し、安全に歩行ができるように配慮している。		
86 <input type="checkbox"/> わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の利用者さんわかる力を把握しスタッフが利用者さんの持っている能力を活かし伸ばせるように落ち着いて暮らせる環境作りや対応を考えている。		
87 <input type="checkbox"/> 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関前のプランターを置き、季節の花を植えてみんなで育て、近場にある畑で家庭菜園を作り、活動できるようにしている。	○	畑で収穫した野菜でバーベキューなどを企画し楽しんでいきたい。

(部分は外部評価との共通評価項目です)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な環境の中で、強制ではなく、楽しい雰囲気、自然の流れの中での機能訓練、レクリエーションを取り入れ、身体機能向上、機能回復を目指し、心身共に自分らしく充実して過ごして頂けるような対応を心がけている。スタッフは利用者さん一人一人の立場になり、耳を傾け、性格、人格、尊厳を守っているより良いケアを行えるよう実践に努めている。